

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

製品名	: パーサン分解剤
会社情報	
会社名	: エンビロテックジャパン株式会社
担当部署	: 営業部
住所	: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-6-2
電話番号	: 03-3661-8925
Fax 番号	: 03-5695-1396
緊急連絡先	: 03-3661-8925
推奨用途及び使用上の制限	: 工業用

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	: 区分外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性固体	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分 4
急性毒性(経皮)	: 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	: 区分 3(気道刺激性)

環境に対する有害性

水生毒性(急性)	: 区分 3
水生毒性(慢性)	: 区分 3

絵表示またはシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 飲み込むと有害
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

: 粉じん、ミスト、蒸気などの吸入を避ける。
換気の良い場所でのみ使用する。
環境への放出を避ける。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
取扱後はよく手を洗う。

[救急処置]
: 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
: 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
: 眼に入った場合: 流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
: 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。直ちに医師の処置を受ける。

[保管]
: 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
: 施錠して保管する。

[廃棄]
: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。
他の危険有害性 : 情報なし

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 二亜硫酸ナトリウム
別名	: メタ重亜硫酸ナトリウム、酸性亜硫酸ナトリウム、ピロ亜硫酸ナトリウム
成分及び含有量	: 二亜硫酸ナトリウム 95.0%以上
化学特性(示性式)	: $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_5$
官報公示整理番号	
化審法	: 1-502
安衛法	: 公表
CAS No.	: 7681-57-4
危険有害成分	: 二亜硫酸ナトリウム

4 応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	: 直ちに流水で 15 分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5 火災時の措置

消火剤	: この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	: 特になし
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
環境に関する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和	: 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	
技術的対策	: 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	: 吸湿性があるので、容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2009 年度版)	: 設定されていない
ACGIH(2009 年度版)	: 5mg/m ³ (TLV-TWA)
保護具	
呼吸器保護具	: 必要に応じて防じんマスクを着用する
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡

9 物理的及び化学的性質

形状	: 粉末
色	: 白色
臭い	: わずかな刺激臭
沸点	: 分解
融点	: 150°C
引火点	: 不燃焼である
密度	: 1.489g/cm ³ (15°C)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 39.0%(20°C) 有機溶媒 ; エタノールに難溶
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	

10 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 加熱して分解すると有害な二酸化硫黄のガスを発生する。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: 酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 硫黄酸化物

11 有害性情報

急性毒性	: 飲み込むと有害 (区分 4) 経皮: 区分外 吸入 (蒸気): データ不足のため分類できない 吸入 (粉塵・ミスト): データ不足のため分類できない ラット 経口 LD50=1540mg/kg ラット 経皮 LD50>2000mg/kg
皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データ不足のため分類できない : 重篤な眼の損傷 (区分 1) SIDS (2001) ではウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験 (OECD TG 405 準拠) において、「刺激性。眼に重篤な損傷の危険性」との結果から、「眼刺激性物質である」と結論している。また、本物質は、EU DSD 分類において「Xi: R41」、EU CLP 分類において「Eye Dam. 1 H318」に分類されている。以上の情報に基づき区分 1 とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データ不足のため分類できない 皮膚感作性: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない in vivo では、ラットの優性致死試験、マウス及びハムスターの小核試験、ラット、マウス、チャイニーズハムスターの染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験でいずれも陰性である。in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性、陽性の結果が混在する。
発がん性	: データ不足のため分類できない ACGIH では A4 (ヒト発がん性に分類できない物質) に分類している。
生殖毒性	: 区分外 ラットの多世代試験、ラット、ウサギの発生毒性試験において生殖毒性、発生毒性がみられないことから区分外とした。
特定標的臓器 全身毒性-単回暴露	: 呼吸器への刺激のおそれ (区分 3) ヒトにおいて、喉の炎症を引き起こすとの記載やマウスにおいて上部呼吸器への刺激がみられたことから区分 3 (気道刺激性) とした。
特定標的臓器 全身毒性-反復暴露 吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない : データ不足のため分類できない

12 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 水生毒性(急性) 水生生物に有害(区分 3) 水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に有害(区分 3) 甲殻類(オオミジンコ) EC50=88.76mg/L/48H
残留性/分解性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 多量の水で希釈して、pH を中性に調整した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
容器	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14 輸送上の注意

国内規制	: 適用法令なし
国連分類	: 分類基準に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15 適用法令

化学物質管理促進法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 法第 57 条第 1 項(令第 18 条)名称等を表示すべき危険物及び有害物(政令第 412 号) : 法第 57 条の 2(令第 18 条 2)名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第 412 号)

16 その他の情報

引用文献	化学大辞典 共立出版社(1963) Dangerous Properties of Industrial Materials, 6 th ed. N.I.Sax 他編 15710 の化学商品、化学工業日報社(2010)
------	--

※この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253 に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010 に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。